

〔 記 載 例 〕

別記第2号様式（第4条関係）

太陽光発電事業計画の案の作成に係る事前協議申出書

令和 ●● 年 ●● 月 ●● 日

① 和歌山県知事 ●●●● 様
（又は「●●●●市町村長」）

② 住所（〒 ●●●● - ●●●●）
申出者

氏名 和歌山県○○市○○ ○○番地
○○○○株式会社
代表取締役 ○○ ○○○

（法人にあつては、名称及び代表者の役職・氏名）
電話番号 ▲▲▲-▲▲-▲▲▲▲

和歌山県太陽光発電事業の実施に関する条例（以下「条例」という。）第4条の規定により、太陽光発電事業計画の案を作成するに当たり、関係書類を添えて協議します。

実施を予定している太陽光発電事業の概要		備考
情報 太陽光発電事業	太陽光発電事業の名称	●●●●●●太陽光発電事業 ⑦
	事業区域	所在地 ○○市○○町○○ ○○○番地 外○筆
太陽光発電設備に関する事項	太陽光発電設備の概要	面積 ③ 12,000 m ²
		設備の合計出力 ④ 650 kW
		パネル設置枚数 2,300 枚
	FIT法認定状況 ⑥	設置面積 ⑤ 8,600 m ²
		認定年月日 2019年 1月 23日
		認定番号 20180000認定第123号
		設備ID A000000E30
発電出力 650 kW		

備考 知事が別に定める書面を添付すること。

- ① 宛名
「和歌山県知事」宛てと事業区域の「市町村長」宛てを作成してください。
※事業区域が2以上の市町村にまたがったり、市町村境界に接したりする場合は、関係するすべての市町村長宛てに作成が必要です。
- ② 申出者
協議申出者は発電事業者（予定）になります。そのため、既にFIT法の認定を受けている場合、当該認定者と協議申出者は原則一致します。
※FIT認定の譲渡手続中など名義変更が予定されている場合は、そのことを説明する資料を協議申出書に添付してください。
- ③ 事業区域の面積
太陽光発電事業の概要（協議様式第1号）に記入した事業区域の面積や求積図により求めた面積と一致させてください。
- ④ 設備の合計出力
パワコンにより交流に変換された後の合計出力を記入してください。ほとんどの場合、太陽光発電事業の概要（協議様式第1号）の太陽電池の出力欄に記入する数値と異なる値になります。（考え方は次頁の図を参考にしてください。）
- ⑤ 設置面積
パネルやパワコン、キュービクルなどの太陽光発電設備が設置される区域の面積を記入してください。
- ⑥ FIT法認定状況
 - <既にFIT認定を受けている場合>
認定通知に記載されている内容を転記してください。なお、変更認定を受けている場合は、最新の変更認定通知書から転記してください。
 - <FIT認定を申請中、又はこれから申請予定の場合>
発電出力欄に申請中（又は申請予定）の発電出力を記入し、その右の備考欄に「申請中」（又は「申請予定」と記入してください。
 - <FIT認定を要しない発電事業の場合>
備考欄に認定を要しない理由を記入してください。
例：「新電力事業のための発電」、「全量自家消費」など
- ⑦ その他、備考欄
営農型太陽光発電事業として計画している場合は「営農型」、パネルの一部を建築物の屋根に設置する場合は「屋根に一部設置」など協議事項申出書（添付資料を含む。）で確認できない内容を備考欄に簡単に示してください。

(参考) 設備の合計出力の考え方

